

災害情報研究会 R1(H31)年度 第2回会合議事録

日時 令和1年6月28日 1330-1530

出席者(6名:敬称略・順不同)

市川座長、野田(アジア航測)、大島(富士通マーケティング)、上倉(FM防災Lab)、南部(清水建設)、水落(NTTソリューションイノベータ)、前田(AIG損保)

議事

1. 2019年度の活動について ~次回からどう進めるか~

新しく参加させる方にも抵抗なく参加し、もっと気楽に楽しめる研究会にすることが目的。

そのために、災害時の状況を時系列で作って試みる。想像力を働かせ、話し合いながら様々な被害情報を時間を追って作っていく。

それが被害情報のデータベースとなって、訓練など様々な場面で自由に活用できるようなものを目指す。

- ・「どんな災害」か「地域」はどこまで細かくするか等レベル感を決める。
- ・目的のひとつは、参加者のレベルアップ…被害情報を集めるだけでなく、何の情報から→なにを決定するか等を考えられるものにする。
- ・a. フローのiを整理する。このiに入るデータが演習の素材になる
- ・社外の情報から始める。
人的被害、建物、火災、交通、電力、ガス、上下水道、通信、行政の対応…
- ・社内については、やるかどうかも含めて後で考える。
- ・研究会の最後の15分で、あげられた情報での気づき等振り返りをする。

必要情報の一覧<推移> イメージ 時間⇒

	大項目	中項目	小項目	1時間	2時間	・・・	1日	2日
災害情報項目								

2. 次回以降の研究会日程(予定)

第3回 令和1年7月19日(金) 15:00~17:00

以上